

# まちなかに点在するパブリックアートの再生

## パブリックアートを蘇生する会

### 活動の目的

劣化した彫刻等を本来のあるべき形に蘇生し、街の美化に貢献すること。品格のある街づくりに寄与すること。あるべき姿を知らないこともたちに彫刻・美術を嫌いにならないよう、一般の人たちに心地よい場を取り戻すこと。さらに先の目的としては現在も進行中ではあるが、「まちなか彫刻データベース」作成。まちなか彫刻の多くが年代的ピークとなっている1985年近辺と現在とその間を埋める新しい作品の設置。この新作設置が実現すれば、「彫刻=裸婦像」の印象と事実から、まちなか彫刻を次のステージへと導くことが可能であると考えている。このステージが箱物内の純美術と市民目線のまちなかアートの程よい区別感が生まれることと考えている。まちなかの既存彫刻のメンテナンスはこの道程の初期段階に位置付けている。

### 活動の内容及び経過

主としてブロンズ彫刻の美化メンテナンス。ここ数年の実施経過をもとに、多年に亘るメンテナンス・フリー化の施工・実施。過去メンテナンスを実施した作品についての巡回および軽補修。ワックス仕上げ作品について必要な場合は特殊フッ素樹脂の塗布を施し多年に亘るメンテナンス後の状態保持のための再補修作業を施す。2014年からの施工実施は約100基。

### 活動の成果・効果

継続して彫刻メンテナンスを行うことによって理解者、協力者も増えてきた。今年度は管理権者が不明の作品、設置場所へのアクセスが難しいなどの今まで施工に二の足を踏んでいた劣化の著しい作品を主にメンテナンスを行った。補修技術は実施を重ねるごとに上達しているし、施工についてのアイデアやプランも豊富になった。また、まちなかの彫刻がきれいになっていることに気づいた人たちの感想も多く耳にするようになり、感謝の言葉も届けられるようになったことは嬉しく、また次の施工の大きな活力の源となる。このような「声」は確実に増えてきていることを実感する。

### 今後の課題と問題点

自治体の所管する彫刻は昨今の指定管理者制度によって複雑化しておりメンテナンス実施に取り掛かる以前の管理権者の調査や対話から施工許可までの一連の仕事が多くの時間と労力の消費を強いられることとなっている。誠実にメンテナンスを行う上でこれらは、致し方ないものであるが、大変な負担となっていることは事実である。この件に



については、さらなるメンテナンス実績を積み上げ、理解者を増やす以外に方法はないものと考えている。この数年、私の片腕のようにメンテナンス実施をしていた相棒が他県の大学に職を得て居を移した。阿吽の呼吸でメンテナンス作業を行ってきたので彼の抜けた「穴」は大きい。メンテナンスを行う上で、各作品の「時代感」を残すことは重要であり、「綺麗であること」とはある意味、対立する項目であるといえる。綺麗だけを求めればピカピカに磨き上げれば良いことであり至って簡単であるが、それでは、まちなかの彫刻、設置された意味や時代の気配を残すことは出来ない。まちなか彫刻のメンテナンスは常にこの対立二項の程よいバランスが大切であると常々思っている。現在2名ほどにメンテ技術を伝えたいと思っているが、各彫刻ごとに異なる劣化度や制作工房の鋳物技術などの見極め、メンテ後のイメージなど「勘と経験」による暗黙知には感性が求められる。この両方を満たす人とうまく出会えるだろうか？…との心配はある。

- 代表者：池田靖嗣 ●所在地：岡山市北区表町
- TEL：086-225-9889 ●E-MAIL：ikedayasushi@gmail.com
- URL：www.ibj-art.jimdo.com
- 設立年：2013年 ●メンバー数：6名